

## I 事務局

本年度も市より各施設に係る管理業務を受託し、障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術と福祉サービスの充実を図るとともに、昨年度策定した事業団経営計画に基づき、経営検討会議で進捗状況と課題の分析等を行うなど更なる経営の健全化と安定化を図った。

### 1 評議員会、理事会の開催状況

回	月 日	会場	会議名	出席者	主たる審議事項
1	5月20日		評議員会 (9:25~)	10人 (欠席3人)	○平成26年度事業報告及び各種会計収支決算の認定 ○定款の一部改正 ○役員を選任 ○評議員を選任 ○理事長専決事項報告等
			理事会 (10:55~)	6	
2	3月24日	事業団 2階 会議室	評議員会 (9:25~)	11人 (欠席2人)	<平成27年度関係> ○平成27年度各種会計収支補正予算 <平成28年度関係> ○平成28年度事業計画 ○平成28年度各種会計収支予算 ○施設管理に係る協定の締結 ○委託契約の締結 ○役員を選任 ○評議員を選任 ○理事長を選任 ○常務理事を選任 ○理事長専決事項報告等
			理事会 (11:00~)	6	

### 2 監査等

区分	実施日	実施者	内 容
会計帳簿監査	5月9日	杉山明喜雄 公認会計士他3人	平成26年度決算に伴う経理監査
監事監査	5月13日	事業団監事2人	平成26年度決算書類及び付属関係書類、関係諸帳簿との照合、係数検査等

※いずれも、適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

### 3 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

平成27年5月12日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員2人に報告した。なお、個々の苦情解決、並びに直接、施設運営適正化委員が受け付けた案件はなかった。

#### 4 職員配置状況

適正な職員配置を行い、業務に万全を期した。(単位：人)

事業別	施設名	正規職員	嘱託職員等	兼務職員	合計
本部	事務局	5 (うち1は役員)			5
身体障害者福祉センターB型	静岡市清水みなとふれあいセンター	2	1	(1)	3(1)
生活介護事業所	静岡市清水ひびきワーク	3	2	(1)	5(1)
母子療育訓練センター	静岡市清水うみのこセンター	4	2		6
多機能型事業所	静岡市清水うしおワーク	6	10	(1)	16(1)
生活介護事業所	静岡市清水うなばら学園	9	10		19
生活介護事業所	静岡市清水なぎさホーム	3	7		10
相談支援事業	障害者相談支援センターわだつみ	2	2	(6)	4(6)
合計		34	34	(9)	68(9)

#### 5 事務局職員の配置状況 (単位：人)

	役員	正規職員	計
理事長	1		1
常務理事兼事務局長		1	1
事務員		3	3
計	1	4	5

#### 6 職員研修等

職員の資質の向上、専門的知識、技能の習得を図るため、関係機関が開催する実務研修や、各種研修会に積極的に参加した他、事業団職員研修計画に基づいて内部研修、階層別研修等を実施した。

##### (1) 職員研修実施状況

##### ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
5月18日	保健衛生研修	平成27年度新規職員	12人	障害者施設の健康管理 感染症対策等

ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
5月25日	嘱託職員研修	平成27年度 新規職員	7人	組織についての基礎知識 利用者の処遇等について
6月15日 6月22日	初級職員研修	採用後 1～2年職員	2人	最近の福祉サービス 組織での役割について
9月4日 9月18日	中級職員研修	採用後 5～7年職員	5人	効果的な問題解決の技法 後輩への指導、助言
10月2日 10月16日	監督者研修Ⅰ	副主任	5人	人材育成の意義と内容 監督者としての知識
11月6日 11月20日	監督者研修Ⅱ	主任	4人	職場環境改善 問題解決能力向上

イ 全体研修

6月9日	防災研修	全職員	68人	災害安否システムの取扱い について
10月28日	虐待防止研修	全職員	68人	虐待防止基礎知識 事例検討グループワーク
12月16日	産業医による講話	全職員	48人	元気で長生きするために
2月5日	交通安全講習会	全職員	40人	清水警察署交通課指導員に よる交通安全講和

ウ スキルアップ研修

9月14日 9月28日 10月5日	パソコン研修	希望職員	4人	ワード、エクセル、 パワーポイント基礎技術
-------------------------	--------	------	----	--------------------------

エ 専門研修

6月26日～	相談支援従事者 初任者研修	相談支援員 支援員	2人	相談支援事業等に従事する ための育成
7月13日～	経理応用講座	事務局職員	2人	新会計基準実践経理事務
7月31日	社会福祉法人会計 に関する研修	事務局職員	1人	新会計基準応用講座
11月6日～	サービス管理責任 者等研修(介護)	相談支援専門員	1人	サービス管理責任者に従事 するための育成
12月3日～	サービス管理責任 者等研修(就労)	主任	1人	サービス管理責任者に従事 するための育成
1月15日	社会福祉法人 予算管理講座	事務局職員	1人	新会計基準に基づく予算書 の作成について
2月8日	フロン排出抑制法 管理者向け講座	事務局職員	2人	フロン排出抑制法について
2月16日	社会福祉法人 決算実務講座	事務局職員	1人	新会計基準に基づく決算書 の作成について

オ 外部研修

4月17日	監事監査研修会	事務局主幹	1人	会計監査のねらい等
-------	---------	-------	----	-----------

オ 外部研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月27日	防火管理者研修会 (甲種)	防火管理者	1人	防火管理の意義と制度の概要について
7月2日	OJT指導者 研修会	副主任	1人	新規職員・後輩職員の基本スキル習得について
8月14日	障害者虐待防止 ・権利擁護研修	主幹	1人	障害者虐待防止法について
8月17日～	安全運転管理者 研修	安全運転管理者	2人	安全運転管理の基本理念と技法について
9月17日	段取り研修	施設長	1人	業務管理と目標管理、リスク管理について
11月9日	公益的な取組推進 セミナー	事務局主幹 副主任	2人	社会福祉法人に求められる公益的な取組について
2月18日	安全運転管理者 セミナー	副安全運転 管理者	1人	清水警察署地域交通官の事業所危機管理講和

カ 視察研修

6月12日	東海北陸ブロック 会議・幹部職員研修	事務局主幹	1人	愛知県厚生事業団
10月22日～	全事協全国大会	事務局主幹 副主任	2人	愛知県厚生事業団
11月5日	先進地視察研修	経営検討委員	4人	調布市社会福祉事業団
11月25日	先進地視察研修	経営検討委員	4人	社会福祉法人むそう
2月4日～	東海北陸ブロック 会議・幹部職員研修	理事長 事務局主幹	2人	豊田市福祉事業団

キ OJT制度及びメンター制度の導入

制度名	内容等
OJT制度	新規採用職員や施設間の職員配置換えに伴う異動後間もない職員に対して、有効で実践的な接遇技術を「利用者の処遇に関する支援マニュアル」等を通じて実施した。
メンター制度	新規採用職員を対象にメンティ(被育成者)をマッチングし、業務だけにとどまらず、スキル形成、人間関係の構築等、併せて法人の中長期的な成長を見込み、メンターの組織人としての成長支援を実施した。

(2) 職員の主な国家資格取得状況(※重複取得者あり)

資格名	人数
社会福祉士	8人
精神保健福祉士	1人
介護福祉士	18人
合計	27人

7 体験実習等の受入れ

事業団内福祉施設の体験学習や実習、施設見学等、積極的に受け入れた。

受入団体名	人数	備考
嘱託職員採用試験受験者	20	通年
私立静岡女子高等学校	25	5人×5日
静岡県社会福祉協議会人材センター	2	
清水区民生委員児童委員協議会	27	
清水区由比地区民生委員児童委員協議会	20	
静岡市障害者福祉課新所属職員	6	
静岡市福祉総務課職員	5	
静岡市議会議員及び静岡市職員	6	
幼児言語教室職員	4	
合計	115	

## 8 情報公開等

事業団各施設の概要、事業内容、収支決算等を事業団だより「つばさ」(年2回[7月・2月]・各2,500部)を発行した他、ホームページを随時更新し、最新情報を公開した。

## 9 防災関係

### (1) 総合防災訓練

年3回(8月・11月・3月)、事業団全施設を対象に、地震による火災発生を想定した初期消火訓練、避難誘導訓練、津波避難訓練、通報訓練のほか、建物の倒壊等により道路が遮断され帰宅困難を想定した炊出し訓練等の総合防災訓練を実施した。

### (2) 防災研修

6月9日、全職員を対象に「災害安否システム・安否コールの取扱い」について学び、非常時の招集伝達訓練に活用している。

### (3) 防災備蓄品

緊急時に備え、食料・保存水(200人分・5日程度)の他、発電機(4台)、寝袋(200個)、簡易トイレ、ハロゲンライト(4基)を備蓄している。

また、静岡市の防災倉庫を敷地内に設置し、浄水機や受水槽等の資機材を保管している。

## II 静岡市清水みなとふれあいセンター(身体障害者福祉センターB型)

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、一般市民を対象にした施設見学や福祉体験の受入れ、静岡市から委託を受けた手話奉仕員養成講座、点字講習会、要約筆記者養成講座の開催等、各種事業を実施した。

### 1 職員の配置状況(単位:人)

	正規職員	嘱託職員等	兼務職員	計
施設長	1			1
指導員		1	(1)	1(1)
保健師	1			1
計	2	1		3(1)

### 2 事業の実施状況

#### (1) 機能訓練、創作的活動

##### ア 機能訓練・社会参加促進

書道・ペン習字・陶芸等7教室実施:延70回・891人参加

##### イ 体力増進

卓球・ボッチャ・水中運動・グラウンドゴルフ・フライングディスク・レクリエーション等の8教室実施:延121回・1,358人参加

#### (2) 障害者福祉団体等への事業運営協力

ア 清水区障害者スポーツフェスティバルの運営、バス運行協力(5月)

イ グラウンドゴルフ大会の運営、バス運行協力(10月・2月の計2回)

ウ ふくしのまつり [障がい者スポーツ体験](9月)

エ 静岡市身体障害者スポーツ大会の運営(11月)

オ 静岡市清水福祉総合文化作品展(11月)

カ 卓球大会の運営協力(2月)

#### (3) 啓発活動

ア みなとだより(広報紙)の発行(年12回)

イ 事業団広報誌「つばさ」の発行(年2回)

#### (4) 地域福祉活動

ア 駒越地区推進委員会への参画(毎月1回)

イ 駒越地区障害者チームへの参画(毎月1回)

ウ 駒越地区防災会議の出席

エ みなとふれあい福祉学級(8月・27人参加)

オ 駒越地区敬老の集い(独居老人等)の運営協力(11月・130人参加)

カ 駒越地区レクリエーション大会の運営協力(8月・2月)

キ 駒越地区社協・福祉施設見の企画、協力(3月)

ク 地区体協対抗グラウンドゴルフ大会の運営協力(7月)

(5) 静岡市障害者スポーツ教室講師派遣

ア 日時 8月4日

イ 場所 静岡市立高部東小学校

ウ 内容 障がい者スポーツ体験(フライングディスク・ストラックアウト・ボッチャ等)

エ 参加者 110人

(6) 手話奉仕員養成講座

区分		開催月	実施回数	会場	参加人員	参加延人員
清水区	昼の部	4月～3月	46回	はーとぴあ清水	21人	935人
葵区 駿河区	夜の部	4月～3月	46回	中央福祉センター	38人	1,254人
合計					59人	2,189人

(7) 点字講習会

区分	開催月	実施回数	会場	参加人員	参加延人員
清水区会場	9月・10月	6回	はーとぴあ清水	10人	56人
葵区・駿河区 会場	11月・12月	6回	中央福祉センター	3人	12人
合計				13人	68人

(8) 要約筆記者養成講座

区分	開催月	実施回数	会場	参加人員	参加延人員
手書きコース	4月～7月	12回	中央福祉センター	3人	36人
パソコンコース	4月～7月	12回	中央福祉センター	4人	46人
手書き及び パソコンコース	4月～7月	19回	中央福祉センター	1人	13人
合計				8人	95人

(9) その他

ア 駒越地区S型デイサービス事業協力(3回)

(10) 会議室、運動広場等の施設利用(外部)

区分	件数
運動広場	48件
多目的ホール	17
計	65

### Ⅲ 静岡市清水ひびきワーク(生活介護事業所：定員 20 名)

利用者の生活を支援するために個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台の福祉バス(静岡市清水うしおワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗)で送迎を行った。

#### 1 職員の配置状況(単位：人)

	正規職員	嘱託職員等	兼務職員	非常勤嘱託	計
施設長	1				1
サービス管理責任者	1				1
生活支援員	1	2			3
看護師			(1)		(1)
嘱託医				(1)	(1)
計	3	2	(1)	(1)	5(2)

#### 2 利用者の状況(平成 27 年度末利用契約人員：18 人)

##### (1) 年齢別(単位：人)

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	5	4	1	1	11	44.8 歳	62 歳	32 歳
女	0	3	2	1	1	7	44.4 歳	62 歳	33 歳
計	0	8	6	2	2	18	44.7 歳		

##### (2) 在所期間(単位：人)

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	2	2	1	2	4	11	16.0 年
女	1	0	1	2	3	7	20.1 年
計	3	2	2	4	7	18	18.0 年

##### (3) 障害支援区分(受給者証)(単位：人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	1	3	3	3	1	11	
女	0	0	2	2	3	0	7	
計	0	1	5	5	6	1	18	4.0



(4) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(5) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	23日	18人	314人
5	22	18	298
6	23	18	317
7	24	18	329
8	23	18	307
9	22	18	284
10	23	18	314
11	21	18	288
12	21	18	292
1	22	18	287
2	22	18	302
3	24	18	317
計	270	—	3,649

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折(ケーキトレー、菓子の箱折り、ひも通し)
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み(薬品梱包用)
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	平成 27 年度	平成 26 年度	増減
収入金額	981,946 円	1,047,515 円	△65,569 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
11,657 円	380 円	4,673 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
避難訓練	毎月	12 回
生活支援(クッキング・買物)	月 2 回	24 回
選択活動、外出活動 (ボウリング・カラオケ・テーブルマナー等)	月 2 回	24 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
バスハイク (沼津深海水族館・富士花鳥園)	5 月・10 月	2 回
県障害者スポーツ体験	7 月・1 月	2 回
歯科保健活動	9 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

※その他、健康診断(11 月)を 1 回行う他、インフルエンザ予防接種(希望者のみ)を行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数
施設体験(地域・保護者)	12 人
ボランティア	78 人
大学、専門学校生の実習	0 人
施設入所のための実習	8 人
合 計	98 人

6 利用者、保護者との連絡調整

利用者及び保護者との個別面談や三者による面談会を行い、利用者へのサービスの向上に努めた。

#### IV 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)

心身に障害があると思われる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、地域の関係機関と共通理解のもと連携して発達につまづきがあると思われる子どもとその保護者を対象に、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育てに努めた。

##### 1 職員の配置状況(単位：人)

	正規職員	嘱託職員	計
施設長	1		1
指導員	3	2	5
計	4	2	6

##### 2 利用状況調(単位：人)

月別	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	合計	一日平均数
4	148	0	4	8	175	335	16.8
5	214	5	3	1	124	347	19.3
6	139	17	4	89	96	345	19.2
7	246	0	5	9	174	434	19.7
8	201	0	3	3	129	336	16.0
9	204	26	4	1	126	361	19.0
10	223	26	5	2	177	433	19.7
11	192	22	3	2	170	389	20.5
12	170	8	4	0	135	317	16.7
1	209	16	2	4	142	373	19.6
2	226	21	2	3	169	421	20.0
3	227	21	3	0	175	426	22.4
計	2,399	162	42	122	1,792	4,517	19.1

年度別	登録者数	延利用者数
平成 26 年度	1 5 3 人	4, 7 6 7 人
平成 27 年度	1 5 2 人	4, 5 1 7 人

### 3 主要行事

行事名	実施月	回数
避難訓練	9月・11月・3月	3回
特別支援学校・学級見学	随時	14回
年長児母親教室	随時	5回
その他の母親教室	随時	4回
親同士の懇談会 (シンデレラクラブ)	随時	6回
父親参加会	10月・2月	2回
新春もちつき大会	1月	1回

#### 《その他の事業》

- (1) 通常の訓練では得られにくい集団活動と入園に向けた訓練の一環として、区内指定こども園への交流保育を毎週水曜日に行った。
- (2) 小児神経内科医師、心理判定員による特別指導を年12回及び臨床発達心理士による療育相談会を年21回実施した。
- (3) 清水、蒲原保健センター主催のフォローアップの会に参加(年間32回)し、課題のあるケースへのアプローチや抵抗なく早期に療育につなげていくための積極的な働きかけを行った。
- (4) 親の会主催行事(歓送迎会、ふれあい交流会)への協力を行った。

### 4 他機関との連携

他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

内 容	回数
清水・蒲原保健センター職員派遣	32回
こども園・保育園・幼稚園・児童発達支援所訪問	45園
静岡市幼児言語教室(さくらんぼ)との連絡会	2回
清水区こども園等との連絡会	随時
保育士障害児研修会職員派遣	1回
就学支援における教育委員会との連携	随時

## V 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

### I 生活介護事業・定員30名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台の福祉バス（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

#### 1 職員の配置状況(単位:人)

	正規職員	嘱託職員等	兼務職員	非常勤嘱託	計
施設長	1				1
サービス管理責任者					
生活支援員	2	6			8
看護師			(1)		(1)
嘱託医				(1)	(1)
計	3	6	(1)	(1)	9(2)

※サービス管理責任者は就労継続支援B型事業を兼務。

※生活支援員のうち1人は、「障害者相談支援センターわだつみ」を兼務。

※嘱託医は就労継続支援B型事業を兼務。

#### 2 利用者の状況(平成27年度末利用契約人員：33人)

##### (1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
	男	2	7	13	1				
女	0	3	4	0	2	9	46.1歳	61歳	38歳
計	2	10	17	1	3	33	43.2歳		

##### (2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
	男	2	5	1	7		
女	1	0	0	4	4	9	20.9年
計	3	5	1	11	13	33	18.7年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	22	2	24
女	8	1	9
計	30	3	33

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	1	0	20	3	0	24	
女	0	0	3	3	1	2	9	
計	0	1	3	23	4	2	33	4.09

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	23日	33人	667人
5	22	33	594
6	23	33	689
7	24	33	711
8	23	33	623
9	22	33	633
10	23	33	666
11	22	33	620
12	21	33	605
1	22	33	620
2	22	33	622
3	24	33	701
計	271	—	7,751

### 3 生産活動

#### (1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立アプライアンス	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジのはめ込み

#### (2) 収入状況

年度別	平成 27 年度	平成 26 年度	増減
収入金額	2, 228, 313 円	2, 128, 261 円	100, 052 円

#### (3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
11, 618 円	809 円	4, 046 円

### 4 主要行事等

行事名	実施月	回数
避難訓練	毎月	12 回
レク活動 (ボウリング・カラオケ等)	随時	27 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
一泊旅行(長野方面)	10 月	1 回
オレンジマラソン大会	11 月	1 回
外食活動	12 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回
バスハイク(富士花鳥園)	3 月	1 回

※運動支援事業(歩行・ソフトボール・ランニング)等、共通する事業は、就労継続支援B型事業の利用者と一緒に行った。

※体重測定、染出しブラッシング指導を毎月1回実施した。

※健康診断(10月)、歯科検診(10月)、歯科保健活動(12月)の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種(希望者のみ)を実施した。

#### 5 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数	備 考
ボランティア	257人	就労継続支援B型事業と共通
大学、専門学校生等の実習	18人	就労継続支援B型事業と共通
高校生の実習	5人	就労継続支援B型事業と共通
特別支援学校生徒実習	7人	生活介護事業単独
体験実習(入所希望者)	6人	生活介護事業単独
合 計	293人	

#### 6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおだより」を毎月発行し、各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報交換を行った。また、個別支援計画等については、個別面談会等を実施し、家庭との連携を図った。



## II 就労継続支援B型事業・定員 20名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台の福祉バス(静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗)で送迎を行った。

### 1 職員の配置状況(単位:人)

	正規職員	嘱託職員等	非常勤嘱託	計
施設長				
サービス管理責任者	1			1
職業指導員	2	1		3
生活支援員		2		2
運転士兼目標工賃達成指導員		1		1
嘱託医			(1)	(1)
計	3	4	(1)	7(1)

※施設長は生活介護事業を兼務。

※職業指導員のうち1人は、「障害者相談支援センターわだつみ」を兼務。

### 2 利用者の状況(平成27年度末利用契約人員:18人)

#### (1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	計	平均年齢	最長年齢	最少年齢
男	0	3	7	3	2	15	46.8歳	66歳	33歳
女	0	1	0	0	2	3	53.0歳	64歳	34歳
計	0	4	7	3	4	18	47.8歳		

#### (2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5~10年	10~15年	15~20年	20年以上	計	平均在所年数
男	3	3	3	2	4	15	14.3年
女	1	1	0	0	1	3	13.6年
計	4	4	3	2	5	18	14.2年

#### (3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	6	9	15
女	0	3	3
計	6	12	18

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	無	1	2	3	4	5	6	計
男	8	0	0	4	3	0	0	15
女	2	0	0	1	0	0	0	3
計	10	0	0	5	3	0	0	18

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	1人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	24 日	19 人	377 人
5	22	19	353
6	23	19	394
7	24	19	402
8	23	19	379
9	24	19	357
10	23	18	370
11	22	18	331
12	21	18	327
1	22	18	349
2	22	18	340
3	24	18	374
計	274	—	4,353

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(有)ミタカ製作所	戸車の組立加工
(株)日立アプライアンス	エアコン部品の加工

事業所名	内 容
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)まんげつ	教材等の袋詰め、チラシ折等
(株)SPSサポート	チラシ折、封入、ホチキス止め
(株)池田ネジ商会	ネジのはめ込み

(2) 収入状況

年度別	平成 27 年度	平成 26 年度	増減
収入金額	5,040,368 円	5,748,910 円	△708,542 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
31,224 円	5,908 円	17,696 円

4 職場(体験)実習

職場(体験)実習は希望者がいなかったため実施しなかった。

5 就職の状況

就職者はなかった。

6 主要行事等

行事名	実施月	回数
避難訓練	毎月	12 回
レク活動 (ボウリング・カラオケ等)	随時	12 回
園芸市出店	4 月・9 月	4 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
一泊旅行(長野方面)	10 月	1 回
オレンジマラソン大会	11 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

※運動支援事業(ソフトボール・ランニング)等、共通する事業は、生活介護事業の利用者と一緒に行った。

※体重測定、染出しブラッシング指導を毎月1回実施した。

※健康診断(10月)、歯科検診(10月)、歯科保健活動(12月)の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種(希望者のみ)を実施した。

#### 7 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数	備 考
ボランティア	257 人	生活介護事業と共通
大学、専門学校生等の実習	18 人	生活介護事業と共通
高校生の実習	5 人	生活介護事業と共通
特別支援学校生徒実習	10 人	就労継続支援B型単独
体験実習(入所希望者)	5 人	就労継続支援B型単独
合 計	295 人	

#### 8 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおだより」を毎月発行し、各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報交換を行った。また、個別支援計画等については、個別面談会等を実施し、家庭との連携を図った。

## VI 静岡市清水うなばら学園(生活介護事業所：定員 60 名)

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、それぞれの特性や能力を活かして、健全な社会生活を営むことが出来るよう、生活、学習、作業支援を実施した。生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には4台の福祉バス(静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うしおワーク利用者と同乗)で送迎を行った。

### 1 職員の配置状況(単位:人)

	正規職員	嘱託職員等	非常勤嘱託	計
施設長	1			1
サービス管理責任者	1			1
生活支援員	7	6		13
運転士兼生活支援員		2		2
看護師		1		1
業務員		1		1
嘱託医			(1)	(1)
計	9	10	(1)	19(1)

※生活支援員のうち1人は、「障害者相談支援センターわだつみ」を兼務。

### 2 利用者の状況(平成 27 年度末利用契約人員：61 人)

#### (1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	20	12	15	0	1	48	32.9 歳	61 歳	19 歳
女	3	5	5	0	0	13	35.6 歳	46 歳	20 歳
計	23	17	20	0	1	61	33.5 歳		

#### (2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	13	7	11	3	14	48	12.4 年
女	0	1	3	2	7	13	17.8 年
計	13	8	14	5	21	61	13.6 年

## (3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	46	2	48
女	13	0	13
計	59	2	61

## (4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	1	13	20	14	48	
女	0	0	0	3	8	2	13	
計	0	0	1	16	28	16	61	4.96

## (5) 入退所状況

入所	退所
3人	0人

## (6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	23 日	60 人	1,145 人
5	22	61	1,082
6	23	61	1,166
7	24	61	1,176
8	23	61	1,159
9	22	61	1,116
10	23	61	1,190
11	21	61	1,073
12	22	61	1,081
1	22	61	1,100
2	22	61	1,090
3	24	61	1,200
計	271	—	13,578

### 3 生産活動

#### (1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料づくり
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー・プランターアクセサリー等の切り出し

#### (2) 収入状況

年度別	平成 27 年度	平成 26 年度	増減
収入金額	651,332 円	836,561 円	△185,229 円

#### (3) 工賃支給状況 (月額)

最 高	最 低	平 均
1,080 円	20 円	601 円

### 4 主要行事等

行事名	実施月	回数
避難訓練	毎月	12 回
個別活動 (いちご狩り・プール・ハイキング等)	随時	8 回
班活動(クッキング・壁面製作等)	随時	33 回
スポーツフェスティバル	5 月	1 回
中部地区交流スポーツ大会	6 月	1 回
宿泊活動(2 班)	9 月	2 回
秋の遠足(富士サファリーパーク)	10 月	1 回
クリスマス外食	12 月	1 回
成人を祝う会	1 月	1 回
新春もちつき大会	1 月	1 回

※体重測定を毎月 1 回実施した。

※その他、健康診断1回、血液検査(希望者のみ)、インフルエンザ予防接種(希望者のみ)、特定健康診査(40歳以上)、結核検診、歯科保健活動をそれぞれ年1回行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数
大学、専門学校生の実習	20人
特別支援学校生徒実習	17人
保護者ボランティア (バザー、清掃、夏祭り、もちつき)	102人
合 計	139人

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うなばら学園だより」を毎月発行し、各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報交換を行った。また、個別支援計画等については、個別面談を実施し、家庭との連携を図った。



## Ⅶ 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所：定員 20 名）

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。

### 1 職員の配置状況（単位：人）

	正規職員	嘱託職員等	非常勤嘱託	計
施設長	1			1
サービス管理責任者	(施設長兼務)			
生活支援員	2	4		6
看護師		2		2
准看護師		1		1
嘱託医			(1)	(1)
計	3	7	(1)	10(1)

※看護師のうち 1 人は、「静岡市清水ひびきワーク」「静岡市清水うしおワーク」を兼務。

※生活支援員のうち 1 人は、「障害者相談支援センターわだつみ」を兼務。

### 2 利用者の状況(平成 27 年度末利用契約人員：17 人)

#### (1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	2	4	3	0	9	36.0 歳	46 歳	18 歳
女	4	3	1	0	8	29.5 歳	47 歳	19 歳
計	6	7	4	0	17	32.9 歳		

#### (2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	4	0	2	3	0	9	11.5 年
女	5	2	1	0	0	8	4.7 年
計	9	2	3	3	0	17	8.1 年

#### (3) 身体障害者手帳所持状況(単位:人)

級 性別	1 級	2 級	無	計
男	7	1	1	9
女	6	0	2	8
計	13	1	3	17

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	0	1	8	9	
女	0	0	0	0	1	7	8	
計	0	0	0	0	2	15	17	5.9

(5) 入退所状況

入所	退所
2人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	23日	16人	282人
5	21	16	257
6	23	16	287
7	24	16	298
8	23	16	281
9	22	16	273
10	23	16	288
11	21	16	262
12	21	16	240
1	22	16	252
2	22	16	232
3	24	17	268
計	269	—	3,220

3 主な活動内容

日常の日課として、個別の課題活動、レクリエーションゲーム、足浴、外気浴等を行った。  
また毎週水曜日は、多目的ホールを使用して、運動的活動を行った。

#### 4 主要行事等

行事名	実施月	回数
避難訓練	毎月	12回
外出活動(駿府匠宿・カラオケ等)	随時	10回
誕生会、クッキング	随時	9回
季節行事 〔 歓迎会、ミニ運動会、 もちつき大会、節分 ひなまつり 〕	随時	5回
音楽療法	随時	5回
リハビリ指導	随時	3回
スポーツ巡回指導	随時	2回
ミニコンサート	随時	5回
ライフサポート事業	随時	6回

※その他、健康管理として体重測定を毎月1回行う他、健康診断、血液検査(希望者のみ)、インフルエンザ予防接種(希望者のみ)、結核検診、歯科保健活動をそれぞれ年1回行った。

#### 5 送迎サービス

送迎を希望する利用者(16人)に対して、毎日、自宅までの戸別送迎を実施した。

#### 6 体験実習及びボランティア等の受入状況(延べ人数)

区 分	受入れ人数
ボランティア	43人
特別支援学校生徒実習	6人
高校生の実習	10人
職場(介護)体験	3人
合 計	62人

#### 7 家庭との連携について

施設の様子や行事予定を掲載した「なぎさだより」を毎月1回配布した他、「家庭連絡ノート」による家庭と施設間の連絡、保護者懇談会(年3回)や個別支援計画作成時における個別面談(年2回)の実施、日々の個別送迎時を通して、家庭との連携、連絡調整を図った。

## Ⅷ 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業)

### Ⅰ 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、適切な計画相談、福祉サービス事業の紹介等を行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

#### 1 職員の配置状況(単位:人)

	正規職員	兼務職員	計
管理者		(1)	(1)
相談支援専門員	2	(5)	2(5)
計	2	(6)	2(6)

#### 2 相談の状況

区分	サービス等 利用計画	モニタリング	本書・ モニタリング
特定相談	168件	196件	6件
障害児相談	69件	57件	3件
合計	237件	253件	9件

### Ⅱ 障害者等相談支援

静岡市の委託事業で、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、障害者等相談支援事業として、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

#### 1 職員の配置状況(単位:人)

	正規職員	兼務職員	計
管理者		(1)	(1)
相談支援専門員	2		2
計	2	(1)	2(1)

## 2 相談支援事業

### (1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		243日
相談支援	実人数	596人
	延件数	2,450件
個別支援計画	作成件数	0件
	作成支援件数	17件
個別支援会議	開催回数	14回
	参加回数	79回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	10回開催
	区連絡調整会議	2回開催
	全体会議	2回参加
	市自立支援会議	2回参加

#### ア 実績の詳細(相談支援実人数)

区 分	障害者	障害児	計
実人数	529人	67人	596人
うち、重複障害のある 人数(重心は除く)	5人	1人	6人

#### イ 障害種別内訳(単位：延人数)

区分 \ 障害別	知的障害	発達障害	身体障害	重症 心身障害	精神障害	高次脳 機能障害	計
障害者	504	0	13	1	11	0	529
障害児	65	0	1	0	1	0	67
計	569	0	14	1	12	0	596

ウ 支援方法内訳(単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話 メール	個別支 援会議	関係 機関	計
身体障害	1	0	0	5	1	10	17
知的障害	166	75	124	636	94	1,271	2,366
精神障害	2	2	5	33	0	25	67
計	169	77	129	674	95	1,306	2,450

エ 年間相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,411	生活技術に関する支援	22
障害や病状に関する支援	62	就労に関する支援	151
健康・医療に関する支援	164	社会参加・余暇活動に関する支援	4
不安の解消・情緒の安定に関する支援	201	権利擁護に関する支援	127
保育・教育に関する支援	12	障害者虐待に関する支援	11
家族関係・人間関係に関する支援	55	その他委託者が必要と認める支援	98
家計・経済に関する支援	132		
		合 計	2,450

(2) 相談支援体制の強化に関する取組み実績

区 分		年間実績
困難事例への対応	延件数	181件
地域の相談機関への助言・指導	実施回数	0回
基幹相談支援センターとの連携	実施回数	56回
合 計		237回

## 2 障害児等療育支援事業

### (1) 訪問による療育指導

実施内容	対 象	実施回数	参加人数
事業所説明会	特別支援学校に通う生徒	1回	60人
療育母親教室	未就園児及び支援関係者	1回	15人
合 計		2回	75人

### (2) 外来による専門的な療育相談、指導

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
自立支援プログラム 「スポーツを体験しよう」	しみず社会福祉事業団	1回	5人
自立支援プログラム 「お料理をしてみよう」	はーとぴあ清水	1回	3人
うみのこセンター 年長児母親	静岡市しみず社会福祉 事業団	1回	7人
福祉サービスに関する 説明会		1回	45人
うみのこセンター 放課後等デイサービス見学会		1回	3人
静岡市生活介護事業所 合同説明会	県立清水特別支援学校	1回	45人
合 計		6回	108人

### (3) 障害児の通う保育園や障害児通園事業等の職員の療育技術の指導

区分	対象児	会 場	実施回数	参加人数
前期	各2名	日本平幼稚園	2回	2人
後期				5人
前期	各2名	小河内こども園	2回	2人
後期				6人
前期	各2名	由比こども園	2回	2人
後期				8人
合 計			6回	25人

※臨床発達心理士による児の観察とカンファレンスを実施した。

(4) 療育機関に対する支援

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
静岡地区重症心身障害児者 在宅支援ネットワーク	つばさ静岡	6回	76人
就学説明会	静岡市しみず社会福 祉事業団	1回	2人
由比地区民生委員向け 福祉サービス説明会	マリナート	1回	25人
合 計		8回	103人



